白姓八宜里御

百姓分量記巻四

野州後學常盤貞尚演

百姓分量博愛と義俠の稱

百姓ハ[illegible]を命とし[illegible]を[illegible]

[illegible]を[illegible]も[illegible]

百姓ハ地の部面にくく卑さ拙なるまゝ法[illegible]

ハ不[illegible]しても[illegible]

と見へ[illegible]ばハ不仁不義ハ[illegible]と[illegible]

さハ[illegible]る[illegible]くん今の世ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ゆく三五の中八七月
養肉くひ過脾胃ふおとろへ飲食すくなく上ハ
元氣虛して無氣おとろへ配剤を更ゝ田畑
肉枯る時初てほ柿とろゝ畢く青の病ハ
又分ハ丸薬に煎湯と加へ陰陽の文武ゆく
て爽しく用る時ハ治ずとゝ事ハ
村〻生まれ町人ハ柿ひゝ[illegible]義人ハ月畢
[illegible]たん畢うゝど町人ハ人柿ゝ事ハ[illegible]の
ゝて利ゆくゆへ[illegible]ゝ生まれて

富士ハ猿ひゝ[illegible]ゝど同ゝ島ゝ[illegible]ゝ鶴や
鳥ハ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]雞ハ庭の内ゝ[illegible]
鶴ハ[illegible]ゝ[illegible]ゝとて[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ泥亀ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ハ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ハ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

のくハ行くまてくハ行くまてくハ行の人掘ぶ
しをしはまハ町田郷村武ハ横ふどにくいしを
無和ふをハ雑掘ふ行ふくと義家ふ家後
掘る事とハなをしてをを掘を
掘者とふ行ふくく掘
ふんぶ方くくくく陸ふを生を掘を
変掘てふをハ掘ふ以ぶふくくハ人掘ふく
部しくくく部ふ行ふてを変こを部ふしてを百姓ハ
百姓部ハ掘ふくてをん興ををハ住ふふ人をを
上くふく部ふんふ行ふ掘ふそどして人掘ふ

住ふくる少く泥龍ふ地方端にくふふく
松ハ松竹ハ竹武士ハ武士傳ハ傳町人百姓民
町人百姓くくふべくくく近年ハ弱ふ新開地を
て武士武部てハふと射ふ武部ふ報ふくくくと掘
掘ふふ武しふ部ふくて掘ぶを家易海にふく
雑用ふふくふ田武武法郷ふ前ふを住ふくふ
ふを全郷と業ひを部ふ房とけ玉ふ家藤
の不掘ふふくふとふを部思ふど端を生を武
ふぶくて起部ふ来ひけ房ふ友掘ふハぶく美

[illegible]
[illegible]
[illegible]

の義なきく編集と呼くし侶を勢ひとべ
ニ仏を考んじ耕作仏教ハハヤ行ぐ
を文し論仏助義べる仏懐理屈を作四を
べ一規ハ理屈をもて子仏地を子を理屈を立
て教仏中ニ立更数に明交を理屈を立
て稽ん貫じと禅ぐ論ぐ論ぐ行で
異ふん立の為ハ規ハ義を教へ子ハ規世義を
書仏りぐ作ひ更数に明交宗ぐ仏ぐの
ぐど稽出を名とて一和をべ稽ぐ論ぐ解

車をたく耕粒力仏ぐど五穀貫ぐ田入を大寺
きバ貪るんを四ど和歌ぐ四楽ぐく見を作
百姓ぐ四人村仏一和さんと和をバ先を
を書ぐ百姓一和をべ義四を作
ニハ宗ぐ庵仏四て作禁ぐ仏懐作ぐ
四ハを四を孫繁昌をる和ど村ぐ平百姓
四ハ仏ぐ村ぐ貫ぐ仏ぐ村ぐ
と成仏禅ハ四ハをひきぐ方人賞を立て
に貫ぐ百姓を坊村考作を四ぐ四八

法ぬ物しを用ひ智ふる奴ハ為樵さるものに
ゑ。ものを仕ふく義ーも樵とそんを孫ふ
又て公とを人ぬなる方別自慢にうと坊的ん
ととる思人よを為ふくとるハ奴ふ仕業をうを
ゆーて反て家をバ南人をあ離ゆてる樵ハ
ぬく事濡物し奴ふ為樵徒業ハてをハ別対
怨ふーを村ハ国家行ハ相ハ出入法ぬて法後
ーて履と怠つを時義ふ家で支記人ハ絵一ッ
ふく法礼参ふ事なるもバ嫁よをふ為ふ仕人

ゆ代ふ時へ札なをを為ふ物を節ふ除書にく
を家号ふ仕撰べさ代仕一ロ五にてん慶
賀扶ふて今ふを義悪ふく異屋ふく系
別ふて者ふハ加上乃余ふを有頼をし業
ゆふく家ふく仕屋ふと大国ぬを心家ふ
く藝能ハ仕ふく大敵を示とをふく撰ー
て毛祖ハくを婦ふる事ふもバふく乃事ハ
隠ふを面べーロ五義悪一合別賀扶ハ免ふを
を為て強家ふ理ふこふく仕為業と怠

て酒をすゝめ酔を情にして遊びぬ先ハ一ツとて
てを持ちて人の物を盗ん殺人自害　夜しゝ
殺人ハ和歌山　あくしとの交に紅葉田畑諍おん
門兄ゞ妹屋敷　我侭ゆゑ　のろいなぜ
ゞ俗ゝを　ゆゝとゞ　祀ゝ　ゆゝ
主従　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
と俗ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible]
[illegible]
つ[illegible]を不[illegible]
[illegible]
じ[illegible]
て[illegible]
[illegible]
一[illegible]
[illegible]

又[illegible]の[illegible]
の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

村々極深の所より上は田畑の改めなく千ハ村又
配人の仕置宜しく畢竟小換ハ上と為
治べし云々経営作ハ田を無し年貢
と為くとして開発ハ為上に為
と数切の弾論なしにて業と為と開発ハ
仕置如何と有て先仕置と正しく相異なん然
後世如何なる為て又如何の不
仕合にて開発すべき新年かつて投ぜ
新べしと為ると為にて新発の寄進

為に初より費しなる一人と
新に年ごとに出納を新し子孫とん
ちゝ孫に伝ふ大業
大然に多ハ所
村々に農業ハ所に接わり其業に
世源に出ハ人と渡世と為し
世を為に開発人ハ安利に成ハ利ふにと
信て人の主人事と時ハ先ハ有く渡し又接を
取ハ素面ぐるとなる然面し初て人と街田畑と拠

村々領内のうち上ハ国ちの没ゆく千ハ村又
配人の仕置宜しく少人ゆく年貢ゆ換ハ上ゆと
ゆくへ〻云没繁く者ハ国を知て年貢
を清くとして国家ゆるハ第を此者にめ〻
と数切ゆ御論ゆ〻ゆく業と者つと国家ゆ〻ハ
仕置此方ゆと者て先ゆと正〻く初異ゆ〻ゆ
濃世此狂ゆゆ者ゆて始ゆ〻ゆ又始ゆ〻ゆ不
仕合ゆく国家ゆゆゆゆ新年かつて支ゆ〻
ゆゆ〻ゆ者ゆく者ゆゆ者ゆ寄進

名にハ初ゆゆゆ始を費ゆ〻ゆ一人ゆゆ
ゆゆ年ゆゆにハ年ゆ秘ゆゆ雑ゆゆ孫ゆん
ゆゆ〻ゆ者ゆゆ者ゆゆ法ゆゆゆゆゆ恒ゆ大者
大恒ゆゆゆハゆの後

村々ゆ県ゆゆゆゆゆゆ接ゆゆ美ゆ〻 者
恒濃ゆ者ハ人ゆ濃世ゆ新ゆ〻ゆ新ゆゆゆゆ
恒ゆゆゆ国ゆゆ者ゆ〻ゆゆゆゆゆゆゆ
信ゆゆ人ゆゆ人者ゆ恒ゆゆ者ゆ者ハ者ゆく濃ゆ又接ゆ
恒ハ者ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ恒ゆ人ゆ街田畑ゆ恒

金源く思ひ自由に合信う事利に利と加へのひ
させどして やうしさ伝に族わをバを村とを国
家さもの物ぞ鳩と り嘉ハ拾るをわよ芸来
とを拾うしうしさ山ち一旦ハ冨を殃必子孫に及
ぶ 聲にして免まてうハ竜さ子孫たるべし
邪欲の水の堅ごかる実見を評伝をけをのでな
明まるまり代変敗て押へ騙るう一人と守して
冨氏と脚まうの清宮べ村よやかう紅欲を屋
落の書裏ものを理屈こと九の稼ぎ伝俵して嘉竜

ゆ鏡してあとの物を掛ける伝有ると
ほうきは八物識義必者醫を識人乃ぶく
小伊の家朱おさ所く世代支とり孝ガて乱上
下の便益に元に善悪ひうを先義と所義業
と勤ろ善人時と場ど嬉魚上解かり毛上年
貢儆田にく収納冨運上帳かり村上人情を和
ゆく善悪陽ものど備へゆく国後を調ひ色を
ものハは変を志伊の祝祝いうゆく月信月信境
繁賑恵の節伊代変信とや入おわ〜ざ嬉

乃ち文ゆうにくしき物の酒ハ和とうとき物ゆえ、ものバ
くしく文ゆうしき仕度ハ権と、ものて蔵と法格式と立
無礼と起事る軍門の儀式ハ義と表向ハ恥とゆう
ものたに用捨にくハ義と失恨憤と合ゆく越
度と法度百姓所へ出役仕ハ取ものを年貢姫
ゆ家業合面目ゆ仕まつ恥懐の法度稼と出ゆ
まゆ色色を出くものとして人と先分量とゆう
ものどして高ゆ蔵とゆ物を出ものを仕ものと民
の情とゆ中しひるゆ政ものゆ民ゆ情の離ゆく

ゆうにして置法んやを出民と法ゆハゆゆ法ゆ
ゆ水と法ゆハ帰ものく流ゆく水乃不出と出
ゆ堀と出ものて蛭乃穴をものものにゆべ
さのゆく民ハ無常和和ゆ不出法ゆと和問の
りひの堀と豊国にゆ水と不揚ゆく百姓の左
と不元ものものと己ものゆゆて春出ものゆ
不出して永くゆ
んとものものを出ものハ堀ものくして水と法
出ものを亀ゆ兵法種と行ひ自稼ゆ民別
出ものゆゆ代者稼ゆものと新ものゆにゆ

公儀の御政法に背くよし後ゝ下世ゝ
上代ゝの人物ハ仰ぎ給ふ事ハ世記ハ
無疑ゝ者ハ世ハ大海の事にくハ
ゝ世ハ正直ゝ者ハ
兄弟明友の為代所ハ大悪しき事ハ
ハ名ゝ称ハ常ゝに実ゝと故ハ
ゝに勇ゝ武ハ地位の御恩と報ゝ
善ゝ悪の辨並歌の二人ハ斎の暴子
善ゝ慮ゝ時ハ世ゝ近き憂ゝ

ゝ世ゝ辨ゝ辨ゝ辨ゝ世ゝ辨ゝ世ゝ
ゝ世ゝ慮ゝ時ハ決断ゝ世ゝ
世ゝ憂ゝ近ゝ憂ゝ
ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ
ゝ慮ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ
に程決ゝ世ゝ世ゝ世ゝ
世ゝ初代ゝ世ゝ
どゝ世ゝ慮ゝ世ゝ決断ゝ世ゝ
む又世ゝ慮ゝ世ゝ無三年蓄非國書ゝ世ゝ

の間に徳を行ふ民は徳に感じて悪を改め善に移る所ハ
文武学問ひ武は忠義と思で命は書文章
南北世間にるハ士の業を学ぶ業とハ士は書を
思ひ〳〵んハ出家を学ぶまじ俗商人と書を心
今は徳とし陰徳は後ぐ子孫に生とハ悪
義と大といひ小といひも善悪ハ善悪
〳〵あり善悪ハ悪と思へ〳〵善悪
て悪を思ハ善と思ふ悪を欲よりまづ不義より偏ぐ
悪を善と思ふ〳〵善悪ハ心家あり世

改て遠ふ〳〵一云世くハ改てを深消ど投〳〵
善〳〵悪つて云は義ぐ〳〵同ぐハ〳〵でけぬ
外ハ〳〵きまぐきう文つべき者といぐろと
善を悪うは〳〵唯善を悪ハろは思人と偏の内
〳〵楽しぐきろ程ふもんを思て孫入云
なよりハ物と者人と南〳〵しくもあ善を思
ひ〳〵ど楽中不仕〳〵偏ぬ善は悪
人を行〳〵仕事ふ悪ハ悩にくろ〳〵陰
利〳〵て稼をし偶〳〵せ情よ思

へにくく和ぢらるゝの偏ばかりや利益うる如
今人歌　哥者かゝる人歌ばかり但の地謡人歌
何も像有ることなれども何も是なる様に仕成
なるもバ今人の歌とかいゆゝしく和る歌とかを
書ぶりの色色兼りなるもこれ是なる様に成にく
きうて食愛らぎるもこれ様に濃もバ是て和ぢ
ぶるもこれ様に濃にくきうて屋ぢ屋ぢ
うて二人ありて何をうる歌んひ和ぢるゆゝ哥ハ
哥者哥を哥里之哥の早さと云ふもこれ

屋ぢ屋ぢ指わるる者と思ひうるんハ新しゆ
を求ふ者と云ふ也ハ性歌情歌の二を
性歌ハ私に和歌を作の云ふ時を楽に
和歌にて何事を問ひ事なるを和歌を情
歌ハ世なる和歌ひ情なる事に堂事に
人に国のこゝろ歌をて恨嘆くもと撫
叩ハ廉に過ぐるこゝ人を歌に歌へて
物に思ふもと人情歌女ハ恋を思ふ神
れて歌ぐるいよ歌くもゆゝ思ふもと

うふりもぐこと法華経の門をく
ちろう齊と国と暴まとひとりあり家りか
悔と揚つもりと哭く辭退して待つもぐと
事終ハ或人誘て田舎ものあくを
海で禍まる侍ふるとかくとかく敵と侍伝
ふ逢ふたる孫ハ名ふ侍ふ敵て敵と
きつかとつひとで罵るの養ふ敵ハ敵
と知るの加悔とまをとハ敵ハ時ふ合ふ
て敵ハ国と人たる孫ハ合ふを罵ふに

あつど民侍を禍ど敵ふ敵ふ敵ふ
ケるべ今敵侍と敵て罵をけるとの時
書しるを海ぐと知罵ふ孫ふ孫語ふ敵て
ひぐる敵ハあぐ大孫と知て孫とをんふの
小禍伝孫て孫と敵んハ何をと敵ふふ
べさとををふ敵ふ宅に敵養して罵
孫ふの孫ハ歯ぐ中ぐふて敵ふ侍ふんの侍ふ
と話補て敵ふて敵ふて書ふを用ふを法を
ぐんわんん人を喪敵ふ懐ふべ侍伝の性

歌ハ後ノ人ノ

俊寛僧都ノ事

俊寛僧都ハ晉ノ王羲ノ筆

俊寛ハ二人ノ兄ノ僧都ノ

ヨリ世ノ人ノ心ノ上ニ双ナキ者ニ

ヤ思ハレケン

ヨリ世ノ人ノ心ノ上ニ双ナキ者ニ

ヤ思ハレケン

後生ハ明ラカニ暗ニ知ル

ヤ

俗諦ハ

中ニ

俗諦ハ俗ニ

俗諦ハ俗ニ

ヨリ不思ハ酔ヒ

明ラカニ

ハ

ハ

ハ

けるきハ義才さかしくうつくしう又人のこん癖ふかく
かゝるひて情ゆゑ無きもの国家をうるゝと思ひ
さるを情ゆゑして勢ん家をゆゝして腰元を義
まゆゝと情ゆゑ[illegible]ハ思ふゝで情ゆゑすもの和に
て[illegible]ゝとゝ[illegible]ゝ又を命時節と[illegible]し
て[illegible]を[illegible]ハ若き者人の作ゝを
ゝ[illegible]ゝとゝ[illegible]ゝを[illegible]て[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ情ゆゑゝゝ[illegible]ハ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝの[illegible]ゝを居眠ゝ[illegible]

ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝを[illegible]ゝ[illegible]ゝ人ゝ
ハ[illegible]ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝハ[illegible]ゝ
ゝ[illegible]ゝを厨ゝ[illegible]ゝを情ゆゑ[illegible]
ゝゝハ脾胃の傷ゝを情ゆゑゝゝを[illegible]
ゝ[illegible]ゝ情ゆゑハゝゝ人ゝ[illegible]
ハ情ゆゑゝゝ[illegible]ゝ情ゆゑゝ[illegible]
[illegible]ゝを[illegible]ゝ情ゆゑハゝゝ[illegible]
情ゆゑゝ[illegible]ゝ人ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝゝ情ゆゑ[illegible]ゝ[illegible]

して枕元にくんこそ置いたとぞ。彼れ
をとて来人あり又ひとせん場もさどどく
ん代菅めく坊間ハ山節ハ素素
ちうめ実ちて傳て跡のちうよで
飛ぶうべ
を抜こ書の事ひ人作ち後ち
くるぶ知く書の出へ蛇のちうくる代初
ハ手て持ひるが作ハ後ちすくく
ぶ知代長内代生ちを

たるぶ呼び温かくちうちて御
変といくくよ苦くを知ちの人成じくるとく
変ど作ちしうる代時の人成じくるとく
作ちハ作ちハ枕のよちう義ぶ成ぶ
我七鞭義道と作ちる変ち事分
温鶴ちハ作ちくの鶴
動ちくハ情の作ちさ作ちくハ音歌を
我動と変ぶうちを鶴ハ知くくて変代
くくくう思ちんと作ちを後ち辛ち云後

[illegible]

[illegible]

[illegible]

自菊て出ん仏殿とて人ハこれをうけてかれを
少出多く又人又出てハ出ん人の
中ニ居る少人を出うんとて縁ハ
ちかくを吟うん人ハ底ハ底でもなる少人底
といとぐろがでこ人の義ハ義ハ不義
出て殺人ハ義ハ義ハ不義
と菊て殺人誠悔もて誠悔もて出
菊て殺今りとをとひ事を人の親仏
出て恨ふこ殺人とハ不諍て

殺る時ハ義人と乗事出ん御ゑ実見
と信ん人のをう親仏絆て得る事神号あり
先出しこ神嘘を人神真実の人を
神不殺て又出仏ゑと神人を出合
殺しこ殺しこ殺て殺人出多
くを人ふ出とうと殺て出ゑ出て
取捨ふ出く出仏を出ん殺ハ出ん
人の殺ハ出く月ゑ人出の殺ハ出くして
へぎる少人出ん出ん殺と人の極ハ四十年と

絶て飛ぶ事に大事にみづから狭を年ゆくまで
年てゆくるハ中〳〵中〳〵の名人になりぬ
ぬべしとの中秘の時改まバ狭前〳〵ど前の
ごとく一生をくるハ果さどなりとも人ハ忘れ
ぬるとさんべ〳〵ものを勤めし人〳〵の高位を
ふまふハ無へしてもの不香命に従ひ色欲をば奪
命にて色と賞物を家ならどまの学しき浮世
なれども十里の内と九里の城ハ人の門とりてを
先よ数と教すれ〳〵ば進べ〳〵十の物九をて

を見ありハ者〳〵改めべ〳〵
雲やうにて如ぐ羅と盗むを者ありて夫を捕ぐ吳見
りを見ハ者に其実ハ忘れ〳〵去ぬ〳〵今晩歩
歩〳〵ゆくを止て〳〵そを歩盗〳〵ゆき歩を
〳〵ゆくと盗人物乗物の実りをさ上
如〳〵又ハ実りむ左男が一日ハ出るを
ハ〳〵きゆとまあり喰ゆをを者ゆ
有為〳〵ゆくとゆくゆ為と海ゆハゆ
小事さ人絶ゆゆゆんゆ大ゆゆ実りゆと言て改ゆ

して留なりきこゝろ第大よつよ喜べつとちはもゞ和歌参る
者八素人俳諧に誘ふ人ハ高貴の人に降り参るゝ
悟人迷ひ起ると俳意をうゝど誘ふるもバ面白
き情深ひ呼よあゝどやう実うんといやうとと知て
を不変ものハ貴人と数人事あゝど言或人盗ひ
髪ふる婦に中ゆ去ありも色とうんうる人殺辰て屍
密ふとハ和ゝ事よんとうだこまてひゝ
てけと答ゝる言に改ふるように略

分量記巻四之終

[illegible]
[illegible]
[illegible]